

名護労働基準監督署と建災防支部北部分会

年末合同パトロールを実施

建設業年末年始労働災害防止強調期間中の令和2年12月10日、新型コロナウイルス感染症の感染防止に十分留意し、建設業労働災害防止協会沖縄県支部北部分会と共に、北部地区の建設現場に対する合同パトロールを実施しました。

名護地方合同庁舎にて行われた出発式では、建災防北部分会長挨拶、沖縄県支部の専務理事挨拶、名護監督署長挨拶が行われました。

署長挨拶では、「県内で建設業の労働災害が対前年比で増加しているのは名護署管内のみであること、比較的低い箇所からの墜落転落や丸ノコ盤との接触など少し気を付ければ防げた災害が多い」などの注意喚起を行いました。



出発式の様子（北部分会長挨拶）



出発前にスローガンを指差唱和

出発前には参加者全員で建設業年末年始労働災害防止強調期間のスローガン

無事故の歳末 明るい正月

を指差唱和しました。

その後、3班に分かれ、1班及び2班は名護市内の現場、3班は本部町、今帰仁村内の現場をパトロールしました。

パトロールでは、現場内を巡視しながら、事故につながるおそれのある箇所や不安全行動については責任者等に説明し、改善を求めました。

名護労働基準監督署は、今後も建災防沖縄県支部北部分会と協力しながら、建設業の労働災害防止に向けた取り組みを継続していきます。

安全指導員の皆様お疲れ様でした